

【最上位目標】

教育目標 「自主自律 おもいやり たくましく」

～豊かな心を持ち、すすんで学ぶ、健康でたくましい児童の育成～

<めざす学校像>

- いじめがない学校
- よいあいさつの学校
- 個性や良さを認める学校
- 家庭と連携する学校
- 地域とともにある学校

<めざす児童像>

「あけぼの運動」

- ・あいさつができる子
- ・けじめのある子
- ・ボランティアができる子
- ・のびやかな子



<目指す教師像>

- 笑顔を忘れない教師
- ともに学び続ける教師
- 児童を主語にする教師

【4つの重点】

確かな学力の育成

豊かな心の育成

健やかな体の育成

信頼される学校づくり

【取組内容】

- ◎引き出す教育・楽しむ教育の工夫
- ◎基礎学力・活用の向上
- ◎1人1台端末の有効活用
- 読書活動の推進
- 家庭学習の習慣化

- ◎基本的な生活習慣の重視
- ◎道徳教育の充実
- ◎教育相談の充実
- 奉仕の心づくり
- 持続可能な社会の創り手としての育成

- ◎体力向上に向けた校内体制の充実
- ◎家庭と連携した健康教育の推進
- 規則正しい生活習慣
- 安全意識の育成

- ◎ふるさと教育の推進と地域への情報発信
- ◎家庭・地域との連携
- 保幼小中との接続連携
- 学校評価による改善と公表

【取組の具体例】

- ◎多様な考えを伝え合い、受け入れ合い、学び合える授業づくり
→教師の授業力向上
→対話や協働の重視
- ◎一人一人の学びを深める工夫
→タブレット PC(ICT 機器)の効果的活用
- ◎探究学習の推進
- SDGs と関連付けた教科学習
→探究型学習の推進
- 自分の考えを書く学習場面の重視
- スキルタイム等での基礎・基本の定着
- 朝読書・読み聞かせ・家庭読書による幅広い読書体験や各教科での図書館利用推進

- ◎挨拶や返事の重視
- ◎ポジティブ教育の推進
- ◎居場所のある温かい学級学校づくり
→人権教育の推進
→ホールスクールアプローチ
→仲間の多様性の受容と積極的協働
- ◎学校いじめ防止基本法「に基づく、いじめや不登校の未然防止
- ◎けじめのある行動の実現に向けた指導
- ◎ボランティア精神の涵養
- ◎教育相談体制の充実
- ◎縦割り班活動の推進
- ◎ESD(持続可能な社会の創り手を育む教育)の推進
→多様な他者との協働
→誰一人取り残さない

- ◎体育授業の研究
→公開授業等を通じた授業研究
- ◎のびやか(業間体育)への取り組み
→各自の目標設定や成果の見えるがんばんりカードの活用
- 縄跳びやマラソン等、体育的取組の工夫
- 特色ある体育(クロスカントリー等)の取組
- ◎保健指導の充実
- 「自分の命を自分で守る」意識を育てる交通安全教室や避難訓練
→交通安全教室実施
→地震、火災、不審者引き渡し等、様々な場の避難設定

- ◎家庭との連携強化(連絡帳・電話・訪問)
- ◎ESD の考え方を生かしたふるさと教育の充実
→地域の良さ再認識(例)バンビライン・恐竜ひょうたん・各種施設・各種地域行事
- ◎家庭・地域と連携したデジタルシチズンシップ指導(スマートルールの徹底)
- ◎各種おたよりやブログ等での積極的な情報発信
- 家庭・地域・学校協議会や地区懇談会の充実と相互交流
- 保幼小中との接続連携

【評価の具体例】

- 「授業が分かる」と回答する児童 90%以上
- チャレンジテスト合格児童 90%以上
- 全教員が年1回以上の授業公開並びに授業研究会を実施

- 「学校が楽しい」と答える児童 90%以上
- 「学校ではいじめがなく仲良く過ごしている」と答える児童 90%以上
- はきはきと挨拶や返事ができる児童 90%以上

- 「のびやか」に進んで取り組んだ児童 90%以上
- 保健指導を各学年毎月1回以上実施
- 避難・防災・交通安全について話し合った家庭 100%

- 地区懇談会の実 100%
- 学級・学校・保健・給食だより等の発行(月1回以上)
- スマホを含むメディアについてルールを決めた家庭 100%

<業務改善のための取組>
・校務の複数人担当化

・ICT の活用による会議等の時間短縮
・構成的な OJT による人材育成

・毎週金曜日の 18 時退校
・校務支援システムの活用